

桐生繊維業界の実態

平成2年1月～12月

桐生市繊維振興協会

平成2年12月末現在

桐生繊維業界の概況

1. 調査対象団体数	21団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2. 産地収入	
	(昨年比較)
(1) 生産高	436億8,155万円 (101%)
(2) 加工収入高	241億9,148万円 (103%)
(3) 販売高	252億4,384万円 (143%)
合計	931億1,687万円 (111%)
3. 総組合員数	1,139事業所
4. 総従業員数（家族従業員含）	7,254人
5. 一事業所当り従業員数	6.4人
6. 一事業所当り生産販売加工高	8,175万円
7. その他参考	
	(比較)
54年産地収入	1,078億1,166万円 (100)
55年	1,170億6,380万円 (109)
56年	1,110億8,757万円 (103)
57年	1,083億3,093万円 (101)
58年	1,023億 634万円 (95)
59年	976億1,960万円 (91)
60年	917億1,760万円 (85)
61年	853億4,182万円 (79)
62年	804億8,548万円 (75)
63年	783億8,548万円 (73)
元年	841億7,076万円 (78)

1. 組合員数及び従業員数

所属団体		組合員数 事業所	従業員数				従業員 平均年齢 才	
			従業員		家族従業員			計
			男 人	女 人	男 人	女 人		
桐生織物(協)	広幅協議会	449	270	288	425	613	1,596	51
	内地協議会	207	550	875	75	90	1,590	50
桐生織物商業(協)		5	20	15	0	1	36	39
桐生織物産地元売(協)		17	44	19	5	8	76	43
両毛輸出織物整染(工)		26	471	235	40	27	773	51
桐生染色(協)		37	213	34	18	20	285	47
桐生繊維製品(協)		31	160	695	25	35	915	29
桐生糸商組合		19	44	25	20	15	104	40
東日本編レース(工)		26	58	60	29	20	167	45
桐生燃糸(工)		42	6	40	44	48	138	57
桐生婦人子供服製造(協)		8	13	115	12	11	151	41
両毛輸出スカーフ(協)		10	6	8	10	8	32	—
桐生織物整経(協)		69	5	26	81	70	182	59
桐生意匠(協)		39	15	6	6	13	40	42
桐生紋紙(協)		28	17	2	35	24	78	—
東毛ジャカード刺繍(協)		12	27	34	14	21	96	32
桐生刺繍商工業(協)		69	216	350	130	142	838	41
桐生金銀糸(協)		14	35	9	0	7	51	45
桐生織物買継商友会		22	7	2	23	23	55	48
群馬県綿スフ織物(工)		107	183	236	29	47	495	45
(協)シルク・ルネッサンス群馬		9	7	17	9	4	37	51
桐生テキスタイル商業グループ		9	26	25	0	0	51	35
計		1,139	2,203	2,863	992	1,196	7,254	—

注(1) 桐織(協)の組合員数の数字は、群馬県綿スフ織物(工)の107事業所を含む。

(2) (協)シルク・ルネッサンス群馬は、他の組合と重複しているため、計算に含まず。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

単位 万円

所属団体		出産高	加工高	計	昨年 比較	取引先区分	
						県内	県外
桐生織物(協)	広幅協議会	1,344,010	—	1,344,010	% 104	% 0	% 100
	内地協議会	764,874	72,970	837,844	108	0	100
両毛輸出織物整染(工)		—	566,667	566,667	110	28	72
桐生染色(協)		—	182,646	182,646	103	59	41
桐生繊維製品(協)		107,500	656,000	763,500	95	10	90
東日本編レース(工)		626,550	—	626,550	101	52	48
桐生撚糸(工)		—	36,040	36,040	110	90	10
桐生婦人子供服製造(協)		87,241	76,299	163,540	95	0	100
桐生織物整経(協)		—	32,926	32,926	100	90	10
桐生意匠(協)		34,053	—	34,053	97	65	35
桐生紋紙(協)		41,700	—	41,700	98	93	7
東毛ジャカード刺繍(協)		84,709	—	84,709	100	3	97
桐生刺繍商工業(協)		612,000	795,600	1,407,600	102	0	100
両毛輸出スカーフ(協)		48,000	—	48,000	100	0	100
群馬県綿スフ織物(工)		267,518	—	267,518	93	0	100
桐生テキスタイル商業グループ		350,000	—	350,000	100	80	20
計		4,368,155	2,419,148	6,787,303	102	36	64

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

単位 万円

所属団体	販売高	昨 年 比 較	出荷先区分		
			桐生市内	県内	県外
桐生織物産地元売(協)	458,618	78	0	0	100
桐生織物商業(協)	349,466	130	0	0	100
桐生系商組合	1,254,600	-	67	3	30
桐生金銀系(協)	180,500	100	80	10	10
桐生織物買継商友会	281,200	105	0	0	100
計	2,524,384	-	29	3	68

4. 内需向，輸出向区分

単位 万円

所属団体	内 需 向		輸 出 向		計
	金 額	割合	金 額	割合	
桐生織物(協)広幅協議会	1,044,806	78	299,204	22	1,344,010
桐生織物商業(協)	194,726	56	154,740	44	349,466
両毛輸出織物整染(工)	458,069	81	108,598	19	566,667
桐生染色(協)	135,159	74	47,487	26	182,646
桐生繊維製品(協)	754,980	99	8,520	1	763,500
桐生刺繍商工業(協)	1,397,600	99	10,000	1	1,407,600
桐生金銀系(協)	84,835	47	95,665	53	180,500
両毛輸出スカーフ(協)	3,360	7	44,640	93	48,000
桐生織物整経(協)	25,732	78	7,194	22	32,926
桐生意匠(協)	31,155	91	2,898	9	34,053
桐生紋紙(協)	37,200	89	4,500	11	41,700
群馬県綿スフ織物(工)	259,090	97	8,428	3	267,518
計	4,426,712	85	791,874	15	5,218,586

5. 各団体の取扱品目

団体名	品目				
	割合	割合	割合	割合	割合
桐生織物協 (広幅協議会)	合織織物	人絹織物	絹織物	アセテート織物	その他
	55	25	11	3	6
桐生織物協 (内地協議会)	帯地	服飾工芸	着尺	その他	
	74	9	7	10	
桐生織物商業協	化合織物	二次製品			
	97	3			
桐生織物産地元売協	帯地	着尺	二次製品	服飾工芸	その他
	67	16	5	3	9
両毛輸出織物整染(工)	ニット	合織	人絹	絹	
	60	30	9	1	
桐生染色協	合織	レーヨン	綿・ウール等	絹	
	47	31	11	11	
桐生織維製品協	ブラウス	ニットシャツ	ワンピース	コート	その他
	75	9	5	3	8
桐生糸商組合	化合織	レーヨン	綿・スフ	絹	
	55	27	10	8	
東日本編レース	カーテンレース	衣料レース	資材		
	75	17	8		
桐生撚糸(工)	合織撚糸	人絹撚糸	絹撚糸	金銀糸	
	55	30	13	2	

桐生婦人子供服製造(協)	婦人 ブラウス	スカート			
	99	1			
両毛輸出スカーフ(協)	スカーフ				
	100				
桐生織物整経(協)	整経				
	100				
桐生意匠(協)	洋反帯	インテリア	夜具	その他	
	18	17	17	8	40
桐生紋紙(協)	紋紙	エンドレス			
	58	42			
東毛ジャカード刺繍(協)	ワッペン	ワンポイント 刺繍	Tシャツ	トレーナー	その他
	43	21	14	11	11
桐生刺繍商工業(協)	婚礼関係	ブラウス 加工	婚礼加工	ハンカチーフ	雑貨
	36	26	15	13	10
桐生金銀糸(協)	金銀糸	関連製品			
	80	20			
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着尺	広巾・服地 その他	
	70	23	2	5	
群馬県綿スフ織物(工)	衛生材料	婦人服地等			
	82	18			
桐生テキスタイル 商業グループ	婦人服地	インテリア 資材	その他		
	60	30	10		

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物(協) (内地協議会)	広巾織機	142	桐生婦人子供 服製造(協)	本縫ミシン	202
	並巾 "	1,298		ロックミシン	32
	小巾 "	250		特殊ミシン	34
	レピア "	191		その他	1
	計	1,881		計	269
桐生織物(協) (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66	桐生織物 整経(協)	整経機	84
	" レピア	715		ワインダー	4,797
	自動及び普通織機	2,256		計	4,881
	計	3,037			
両毛輸出織物 整経(工)	精錬漂白機	72	桐生意匠(協)	拡大機	35
	乾燥機	113		コピー機	19
	染色機	123		コンピューター	22
	仕上機	65		パンチング	11
	計	373		計	87
桐生染色(協)	染色機(常圧噴射式)	134	桐生紋紙(協)	ピアノマシン	70
	" (高圧 ")	43		裁断機	33
	" (汎 ")	46		編機	46
	チーズ及チーク	71		ワンパンチ	30
	計	294		その他	69
桐生繊維 製品(協)	縫製ミシン	1,170	桐生刺繡 商工業(協)	計	248
	プレス	70		横振ミシン	1,800
	裁断機	70		ジャカードミシン	4,210
	計	1,310		計	6,010
東日本編(工)	ラッセル機	192	群馬県綿スフ 織物(工)	広巾普通織機	176
東毛ジャガード(協)	ジャカードミシン	65		小巾 "	243
桐生撚糸(工)	イタリー式撚糸機	137		超自動レピア	49
	合撚式 "	62		ガラス繊維織物 (規制外・レピア4台含む)	134
	アップワインダー	8		計	602
	長谷式	3			
計	210				

7. 最近の推移（元年10月～2年2月）

所属団体		受注，引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比	上昇	変わらず	下降	前年対比
桐生織物協	広幅協議会	○			100	○			100
	内地協議会	○			100		○		100
桐生織物商業協		○			120	○			130
桐生織物産地元売協			○		100			○	78
両毛輸出織物整染(工)		○			105	○			110
桐生染色協			○		100	○			103
桐生繊維製品協			○		110	○			110
桐生糸商組合			○		100			○	90
東日本編レース(工)			○		100	○			110
桐生撚糸(工)		○			110	○			110
桐生婦人子供服製造協			○		100		○		100
両毛輸出スカーフ協			○		100		○		100
桐生織物整経協				○	95		○		100
桐生意匠協			○		100		○		100
桐生紋紙協			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協			○		100		○		100
桐生刺繍商工業協		○			110	○			110
桐生金銀糸協			○		100		○		100
桐生織物買継商友会			○		102		○		102
群馬県綿スフ織物(工)			○		100		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	95		○		100
計		6	13	2	102	8	11	2	103

正 誤

P.9

2. 桐生織物協同組合（内地協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

益々、多品種少量生産指向のなかにおいて、色目は、より明るいものが好まれている。

★ 状況、事業概要

和装織物類の平成2年1月～12月における組合統計の生産状況をみると、和装全体としては、数量、金額ともに前年対比2年連続して増勢となった。

特に帯地においては、袋帯・ゆかた帯の急進により2ケタの伸びを示し、近来まれにみる好業績となったことが注目される。

★ 今後の課題

呉服業界においては、多品種少量の傾向がますます顕著になっている。反面、ブック販売・テレビ販売など新しいチャネルによるPOS管理をすることが多くなり、これに連動するかのようにクイックデリバリーの要望が次第に多くなっている。一方ゆかたの帯のように前売店の用途別販売による需要が明確になり、用途開発による潜在需要の掘り起こしの必要性が高まっている。

これら産地的体質は旧態依然としており、需要の変化に対応する産地基盤の再構築とその整備が急務となっている。

P.10

4. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

- ・内外需要の高齢化、高速化、個性化
- ・消費者の感性にマッチする新素材の開発、製品化

★ 状況、事業概要

繊維産業は、依然として輸出が減退を続け、輸入は相変わらず高水準で推移している。内需は、消費ブームを反映して好調であり、各企業も内需指向に努力し、輸入急増はあったものの好況のうちに推移した。

このなかで染色整理業は、繊維産業全般の流れに沿って内需向けに重きをおいた。しかしこの業況も内容を吟味すると全体のキャパシティーが減少していること、内需指向のため多品種、小ロットが進み、生産効率が低下している。従業員が減少もしくは高齢化が進んでいるなど、8月中東紛争による原油高騰等の問題点がクローズアップされ、これらの要因は大幅なコストアップを招く結果になっております。

このような事態を改善するため、再生産可能な適正料金の確保と問題の多い取引条件の改善による業績向上の裏付けを必要とし、関係業界にも今後ともご協力をお願い申し上げます。

★ 今後の課題

消費需要に対応できるよう生活文化提案型産業への変革が迫られていますが、繊維の物づくりの流れの中で、川中の加工段階に位置し、川上でつくられた素材に色・柄をつけ、感性や機能性を付与し、付加価値を高めて、これを川下に渡して行くと言う、非常に重要な役割を担っていることの使命を自覚し、その役割を果たし得るよう厳しい環境のなかで一層の運営努力を積み重ねなければならない。

建設業と同様に、染色整理業界も三Kのイメージが浸透し、人手不足の問題がより深刻化し、各社とも環境改善に積極的に取り組み、労働時間の短縮や休日の増加、給与面など数々の対応策を具体化し、実行に踏み切ったが危険感解消されたとは言えない。もっと染色という地位向上と活性化を図るため、業界及び団体が協調してPRすべきである。

ファッションは色で始まり色でおわる。こういう意義深い仕事に従事していることに誇りを持たねばならない。

1. 桐生織物協同組合（広幅協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

輸出向け織物については、湾岸戦争の早期解決で厳しいうちにも明るさが出ている。

国内向け婦人服地については、やや受注の減少が見られるが産地挙げてのイベント等を実施しているので、今後に期待したい。

★ 状況、事業概要

・輸出向け織物については、湾岸危機があったが前年比数量で12%、金額で20%の増加となった。

・国内向け広巾織物は、前年対比で数量で9%減少したが、金額ではほぼ横這いに推移した。

・そのうち婦人服地は、数量で9%減少したが、金額では2%増加した。

・インテリア・寝装品ともに、金額でほぼ横這いとなった。

・後半より、ショール・スカーフ・きんらん等で減少傾向が見られた。

★ 今後の課題

輸出向け織物は、厳しい環境が続くものと思われるが、為替レートが安定し中東地区の復興が進めば見通しは明るい。

内需向け織物は、分業関連企業が連携をとってイベント等を実施しているので、その効果は上るものと思う。また、服地部会・整理・染色・流通業種が交流を計り、自主検査実施を進めており、新構造改善事業の推進とともに、桐生市繊維振興協会を中心に実需対応供給体制の確立と労働力確保等の課題を検討して行くことが急務と思う。

2. 桐生織物協同組合（内地協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

益々、多品種少量生産指向のなかであって、色目は、より明るいものが好まれている。

3. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズとしては、和装品においては、婚礼衣裳・成人式・七五三用貸衣裳向等のフォーマル製品については、高級品的嗜好が強く、着付教室用等普及的なものにあっては、大衆的なものが要求され、それぞれの立場に順応する商品の生産が行われている。

★ 状況、事業概要

当組合の取扱品の主体である和装関係の生産高は、当産地としては前年比の90%内外であるが、当組合としては本年も組合員中、大手商社の倒産があったため前年対比78%弱となり、当組合運営規模の縮小を余儀なくされている

の帯のように前売店の用途別販売による需要が明確になり、用途開発による潜在需要の掘り起こしの必要性が高まっている。

これら産地的体質は旧態依然としており、需要の変化に対応する産地基盤の再構築とその整備が急務となっている。

3. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズとしては、和装品においては、婚礼衣裳・成人式・七五三用貸衣裳向等のフォーマル製品については、高級品的嗜好が強く、着付教室用等普及的なものにあっては、大衆的なものが要求され、それぞれの立場に順応する商品の生産が行われている。

★ 状況、事業概要

当組合の取扱品の主体である和装関係の生産高は、当産地としては前年比の90%内外であるが、当組合としては本年も組合員中、大手商社の倒産があったため前年対比78%弱となり、当組合運営規模の縮小を余儀なくされている。

★ 今後の課題

近年における多品種・少量・短サイクル化・情報化等、流通構造や取引環境の急速な変化に対応する機能強化に、積極的対応を迫られている。

4. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

- ・内外需要の高齢化、高速化、個性化
- ・消費者の感性にマッチする新素材の開発、製品化

★ 状況、事業概要

繊維産業は、依然として輸出が減退を続け、輸入は相変わらず高水準で推移している。内需は、消費ブームを反映して好調であり、各企業も内需指向に努力し、輸入急増はあったものの好況のうちに推移した。

このなかで染色整理業は、繊維産業全般の流れに沿って内需向けに重きをおいた。しかしこの業況も内容を吟味すると全体のキャパシティーが減少していること、内需指向のため多品種、小ロットが進み、生産効率が低下している。従業員が減少もしくは高齢化が進んでいるなど、8月中東紛争による原油高騰等の問題点がクローズアップされ、これらの要因は大幅なコストアップを招く結果になっております。

このような事態を改善するため、再生産可能な適正料金の確保と問題の多い取引条件の改善による業績向上の裏付けを必要とし、関係業界にも今後ともご協力をお願い申し上げます。

5. 桐生染色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズの高級化指向はますます強く、これに伴って原糸に細番手或いは複合繊維を使用する製品が多くなってきており、高度な染色技術が以前にも増して要求されている。

★ 状況、事業概要

平成2年8月、イラクのクェート侵攻など国際的な事件があったが年間を通じて加工数量・金額は殆んど変わらなかった。

染料をはじめとする染色助剤・物流経費の上昇及び重油等、燃料価格の不安定要因が重なって染色加工コストが高み、このため各企業は15～20%加工賃の値上げを要請した。

★ 今後の課題

本年1月湾岸戦争が勃発し、先行き輸出関係の影響が懸念されたが戦争が予想以上に早期に終結したので、漸次輸出も回復するものと期待している。

今後の課題としては、

1. 染色加工品の小ロット・短納期化及び高級化指向に対する対応
2. 人材の確保及び後継者問題
3. 公害対策等がある

これらを解決するためには機械化・省力化等による労働条件の整備・技術の向上、これに伴う適正加工料金の確保等が肝要であると考える。

6. 桐生繊維製品協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者は今知性あふれる遊び心を通して、ファッションを追求しており、高級化指向になって来ております。

★ 状況、事業概要

吾々アパレル業者は、生産管理体制を再検討すべき時代に入って来ており、労働集約型から、知識集約型へ出来るだけ創意工夫をはかり体質を変えて行かねばならないきびしい環境でした。

消費動向がより良い高品質化商品へと移って来ており、これらを物造りする機能をもつ業者は受注には恵まれ、加工費もより収益性の上がる現状でした。

又一方では海外専用生産工場を進めている大手企業も多くなってきており、吾々国内生産者もより一層の努力している現況です。

★ 今後の課題

ファッションはいちばん速く進化していく文化だと言われておりますが、吾々生産業者は広い視野に立って消費動向・情報をキャッチし乍ら新商品開発と技術力の強化・設備の導入をはかり、人手・時短のきびしい状況を踏え乍ら「縮小改善」をして行き、従来の生産時間が如何に節約出来、収益が高まるかを大きな課題として取り組んで行くべきかです。

又難かしい問題ですが、雇用・技術者育成面については企業と業界が一体となって、よりよい体質改善をはかり受け皿をどうしたらよいか考え実行して行くべき時です。

7. 桐生糸商組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

付加価値、少量生産による高価格化と量産により コストダウンした低価格製品との二極分化が進む傾向がある。

★ 状況、事業概要

輸出織物・婦人服地等前半は好調にスタートしたが、8月より湾岸情勢の影響を受けかげりが出て来た。

和装部門は、帯地中心に横這いがやや下降気味に推移した。

★ 今後の課題

原糸の加工販売の比率が高まり、撚糸・染色等の負担が重なり、労力コスト面を圧迫して来た。

今後、外注部門の効率化・合理的な配送など改善を計りたい。

8. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

春夏用レースカーテンは、高級化やクロスカーテン・デザインカーテン等の普及で、小柄で地組織の変化にとんだ物が増え、ドレープのペア柄の副的存在のものは低迷している衣料、特にショール・マフラ等は天然資材薄手のものの要求が多い。

★ 状況、事業概要

カーテンレースは、前年に引続き引合受注共好調に推移しているが、製造原価及び諸経費のアップにも拘らず、製品価格の上昇がまだ浸透せず業況は厳しいものがある。

又生産数量・販売数量も小ロット・操業時間の短縮等により、若干減少済み。

衣料関係は、ラッセルブームに支えられ、ショール・ストール及びピース物にいたる迄、近年にない好調を持續している。

★ 今後の課題

1. 人手不足対策として、企業イメージのアップ
2. 高金利に対して、借入資金対策
3. 企業のコンピューター取入
4. 従業員福利厚生施設の研究
5. 後継者及び若手の意向を入れた長期ビジョンの確立

9. 桐生燃系工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

繊維素材の多様化が進み製品の高級化と、細分化の中で技術の向上と、スピードアップを計らなければならない。

★ 状況、事業概要

国内全般の高原景気の中で関連業種によりバラツキがあるが当業界の主流である化合繊維燃系は比較的好調であった。特に住宅関連のレース部門と、婦人服地用の強燃系部門はフル操業を続け、人手不足の為、労働が過重になっている。

★ 今後の課題

各種繊維製品の素材として欠かせぬ加工部門である。その生産性と高品質化は、ますます要望が強くなり、その期待に対応して行かなければならない。

その為には、高性能機械の導入と労力の確保が最重点に取り組まねばならず今後積極的に対応して行きたいと思う。

10. 桐生婦人子供服製造協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズ好みの変化は、昨年よりますます高級品本物志向が強くなり良い品自分だけのものにこだわりを見せる昨今である。

★ 状況、事業概要

平成元年に続き好景気の年であった。注文に応じ切れずに断った企業も大分有った様である。

市場の売れ行きは、活発であったと思われる。

★ 今後の課題

アパレル業界に於ても、労働力不足・高齢化の進行・労働時間の短縮等、昨年より本年とますます深刻になりつつ有る。賃金の上昇に見合った工賃のコストは上らず、深刻な問題に直面している。

11. 両毛輸出スカーフ

★ 商品、消費者ニーズの変化について

中近東よりの引合は0、その他の方面も時期的な要因もあり激減し従って売値が急落してしまった。内地のスカーフブームは湾岸と呼応するかの如く全く消え果て、近年に例を見ない程悪い。

戦火は一応おさまったが、日本の銀行が現地の銀行の発行した輸入書類の買取りを拒んでいるので現在一番の障壁になって、船積も契約も出来ない状態にある。

★ 状況、事業概要

輸出内地共、売行きが逐次上昇し2年1月頃はスカーフブームと言われる程の活況を呈し受注残も3、4ヶ月分もあり頂点に達した感があった。然し受注は、縫製能力が限界に達した為に頭打ちになってしまった。

縫製（ヘム縫い）は、内職を主体にしているのがブーム以前の不況期に転職・廃業した為に復帰するものも少なく縫製能力即ち受注能力となってしまった。従って縫製工賃は打200円前後と内職工賃としては満足出来る迄になった。又売値も最低品で1打400円位のもものが1打660円位迄上昇した。

尚、加熱気味に継続していたが、8月突然湾岸紛争が勃発したためにジッダ・ドバイ方面の船積不能となり、航空便の取扱いも停止となった為に如何ともしがたく滞貨となってしまった。北米ヨーロッパの契約分は、出荷出来たが北米等は時期的に契約量が減少する時でもあり、又バイヤーの海外出張も少なく滞貨処分金融等もあり、価格の下落を余儀なくされた。

12. 桐生織物整経協同組合

★ 状況、事業概要

中東問題による原油高騰で諸原料が上がり採算割れを生じ、取引先より受注減少傾向がみられる。

★ 今後の課題

設備近代化にともない生産性も向上したが、整経の作業は手作業にたよる分野が多く就労者の高齢化により多難である。

13. 桐生意匠協同組合

★ 状況、事業概要

従業員が少なくなって来ている現在、去年に引続き桐生産地の仕事量の減少を個々企業の努力で、売上は横這いに推移したデザインシステムの仕事に移行した分だけ変化があった。

★ 今後の課題

時代の変化が早くなって来ている折でもあり、その時の流れをいち早くキャッチして新しい商品作りに取りくみたい。それには、個々では困難な資料収集を業界全体で情報収集を行いお互いのノウハウを出し合っていく事が大切である。

作業的に関連業種が互いに連絡し合って協調して行く事が大事であると思う。

14. 東毛ジャカード刺繍協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

前年度同様、高級化指向が続き、特殊刺繍を中心に付加価値の高い商品や手づくり風の商品が求められた。

★ 状況、事業概要

前年同様、受注の多い年だった。

湾岸危機・湾岸戦争により受注が軽減するかと思っていたが予想外にも秋冬物の受注が多く、フル生産をしても受注消化ができず設備等を増やしながらいかに乗り切った忙しい1年であった。しかし、湾岸危機・湾岸戦争は景気拡大に水をさし、先行きの不安定感を残している。

15. 桐生刺繍商工業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

素材面・技術面での高級化志向がみられるものの値段のこなれているものもみられる。

★ 状況、事業概要

ブラウス他雑貨系は時期的なものが多いため、相変らずですが、今年に入ってニット製品が多くなりブラウス類は多少減少済みです。

婚礼衣裳関係は、ここにきて横振りをする人が少ないため、仕事がまに合わないようです。又ハンカチは、去年に引続き好調に増加しています。

★ 今後の課題

- ① 零細企業が多いため情報の交換親睦場として未加入者への組合加入の増強を積極的に推進していく。
- ② 技術者の養成等、技術研究を行う。

- ③ 各企業とも人材不足の問題を抱えているため機械設備で生産能力を向上させ新技術の開発とそのスピード化を図るようにする。
- ④ 2年前に設立した青年部を活躍させてゆきたい。

16. 桐生織物買継商友会

★ 商品、消費者ニーズの変化について

和装製品に於ては、益々冠婚葬祭向きに絞られて来ている。二次製品は、洋装向きや生活関連雑貨商品が伸びて来ている。

★ 状況、事業概要

前年度の昭和天皇の崩御による自粛ムードが取り除かれ、年度初めから商況も回復し上昇した。

冠婚葬祭の商品は特に著しく伸び、各地イベントに必要な商品は活発な取引が行なわれた。商品単価も、前年度よりアップして来ている。

★ 今後の課題

消費需要の多様化・小ロット・短サイクル等により、販売の対応が今後一段と難しくなると思う。

又、これらの事情により各生産地共通していえる事であるが、近年目新しい商品を開発し提案出来なくなって来ている。当産地に於いては、和装・洋装に限らず持てる技術を活し、新製品の開発に取り組んで行くことが急務であり、産地の発展のカギと思う。

17. 群馬県綿スフ織物工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

- 衛生資材（ガーゼ）は、看護婦不足等でガーゼの特殊折り・特殊裁断等の処理をした商品の需要が増加している。
- 綿織物の婦人服地はプリントの下生地が多いが、他にも多繊維使いで綿の交織ものがあり、全般にやや低調であった。

★ 状況、事業概要

- 衛生資材（ガーゼ）については、後半運賃等の値上げにより主要材料が上昇し、加えて湾岸危機による不安感が諸経費増加となり、金利上昇とともに経常利益を圧迫した。
- 綿の婦人服地については、多品種・少量・短サイクルに対応出来る生産体制が必要である。内需については、硝子繊維の工賃収入について他地区（高崎）であり、業種も異なるため削除しました。

★ 今後の課題

- 衛生資材については、平均5%~10%の値上がりした材料価格の商品価格への転嫁と多様化する商品と小ロット商品の手作業から機械化への課題がある。

(注) ○ 高崎地区の日東グラステック(株)については、他地区であり業種も違い、工賃収入のみであるので本年度より集計より除きました。

- 桐生地区については、組合傘下の綿スフ素材の合計を加算しました。

18. 桐生テキスタイル商業グループ

★ 商品、消費者ニーズの変化について

- '90 8月湾岸戦争以後ジリジリと引合が鈍化する。
- 桐生服地主力商品アセテート/レーヨン紋織物の流行のピークを越す。

★ 状況、事業概要

- 情報の蒐集体制と時代と急速な変化に対応する能力を各企業が向上させること。

★ 今後の課題

単独「桐生テキスタイル商業グループ」と言う服地の流通業者同志の組織を緊密なものとして、関連業種（桐生織協服地部会）（整染組合）と一層の連繋を持ち、経型産地システムの中での対応が急務。

三業種交流会が発足、活動を開始されたが今後の期する所大。

桐生市繊維振興協会会員名簿

団 体 名	代 表 者	所 在 地	電 話
桐 生 織 物 協	小 林 松	桐生市永楽町 5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	木 村 一 蔵	" 織姫町 2-5	45-1201
桐 生 織 物 商 業 協	木 村 市 雄	" 宮本町 2 丁目10-27	47-3121
桐生織物産地元売協	木 村 一 蔵	" 永楽町6-6	22-9120
両毛輸出織物整染(工)	朝 倉 融	" "	22-2775
桐 生 染 色 協	塚 本 祐 平	" "	22-9661
桐 生 織 維 製 品 協	栗 原 守 男	" 仲町 3 丁目 15-20	43-5115
桐 生 糸 商 組 合	川 村 治 朗	" 仲町 3 丁目 15-6	44-4171
東 日 本 編 レ ー ス (工)	小 堀 文 男	" 永楽町 6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 (工)	田 中 堯	" 稲荷町 4-29	44-9431
桐生婦人子供服製造協	中 島 静 雄	" 川内町 1 丁目 47-14	65-7143
両毛輸出スカーフ協	古 谷 恒	" 浜松町 2 丁目 8-20	44-1771
桐 生 織 物 整 経 協	高 久 勇 雄	" 永楽町 6-6	22-9184
桐 生 意 匠 協	柘 植 洋 二	" "	22-7088
桐 生 紋 紙 協	高 橋 金 五 郎	" "	22-5854
東毛ジャカード刺繍協	西 村 千 春	" 新宿 3 丁目 7-34	43-1166
桐 生 刺 繍 商 工 業 協	村 田 永 昌	" 永楽町 6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 協	今 西 洋 右	" 巴町 2 丁目 1.832	22-8539
桐生織物買継商友会	小 沢 圭 正	" 広沢町 2 丁目 3125-53	54-0030
群馬県綿スフ織物(工)	小 林 松	" 永楽町 5-1	43-2511
協シルク・ルネッサンス群馬	岩 崎 秀 雄	" 菱町黒川 1.042	44-6559
桐生テキスタイル商業グループ	木 島 清	" 相生町 5 丁目 13-4	52-4125